

松本ピアノ

レクチャー&コンサート

～松本ピアノの歴史と
音色を楽しむひととき～

大正時代に製造された松本ピアノが今なお展示され、実際に演奏会で活用されているブラフ18番館。日本三大ピアノメーカーのひとつとして名を馳せた松本ピアノの歴史や魅力を、レクチャーで学び、「スウィート・トーン」と称される甘く柔らかな音色をコンサートでお楽しみいただきます。



ブラフ18番館・サロンに展示されている松本ピアノ

日時

令和8年

9月27日(日)

①10:30～12:00 ②13:30～15:00

※各回とも同内容

会場

ブラフ18番館(神奈川県横浜市中区山手町16)

定員

各回30名(先着順)

申込

令和8年8月11日(火・祝)10時から
ブラフ18番館への電話または来館により申込

参加費

無料

プログラム



第1部 レクチャー(ホール)

— 松本新吉氏のピアノづくりの歴史や
松本ピアノの魅力について



第2部 コンサート(サロン)

— ブラフ18番館サロンに展示されている
松本ピアノによるコンサート

レクチャー 鈴木 希実



国立音楽大学音楽学部卒業。同大学院音楽研究科修了。現在、清和大学短期大学部こども学科専任講師。松本ピアノ・オルガン保存会会員。君津市文化協会会員。演奏活動、並びに研究活動を展開中。

君津市出身、在住。

2019年「文化資産『松本ピアノ』の保管の現状と考察」

2020年「旧三島小学校の松本ピアノ」

2023年「施設における文化資産『松本ピアノ』の活用と役割」執筆。

ピアノ 朴 成姚



フェリス女学院大学音楽学部器楽学科卒業。同大学院音楽研究科修了。同大学院研究生修了。楠本隆一、北川曉子の各氏に師事。

現在、フェリス音楽教室ソルフェージュ科非常勤講師。大人のためのピアノレッスン

「OTOPIA」を主宰。

2016年「第10回横浜山手芸術祭」、2024年「山手西洋館本活コミュニケーションinイギリス館」、2025年「ベリック・ホール ボランティアコンサート」など、山手西洋館コンサートやイベントに多数出演。

松本新吉と松本ピアノ



松本 新吉
(1865～1941)

戦前の日本ピアノ製造の黎明期、「松本ピアノ」は「山葉」「西川」とともに「日本3大ピアノメーカー」として名を馳せました。その柔かく甘い音色から「スウィート・トーン」と称されています。

創業者の松本新吉は、1865年(慶応元年)、上総国周准郡常代村(現在の千葉県君津市常代)で生まれました。自費で渡米し、数々の苦難に立ち向かいながらも、東京の築地、月島、そして君津の八重原工場で、ピアノ製造に生涯を捧げました。新吉のピアノ作りに対する情熱と信念は、二代目新治、三代目新一まで引き継がれました。



君津市所蔵の松本ピアノ
(明治43年製造)

申込・問合せ

ブラフ18番館



045-662-6318

開館時間: 9:30～17:00

休館日: 第2水曜日(休日の場合は翌日)

主催



共催

公益財団法人 横浜市緑の協会

協力

松本ピアノ・オルガン保存会